

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-506063(P2005-506063A)

【公表日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-009

【出願番号】特願2003-515649(P2003-515649)

【国際特許分類】

C 1 2 N	1/20	(2006.01)
A 2 3 L	1/30	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/20	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	35/74	(2006.01)
A 6 1 K	39/02	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	47/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/14	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	3/02	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	5/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	13/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/10	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)

A 6 1 P	29/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
C 1 2 R	1/225	(2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N	1/20	A
A 2 3 L	1/30	Z
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	9/20	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 K	35/74	A
A 6 1 K	39/02	
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 K	47/08	
A 6 1 K	47/26	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/44	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/12	
A 6 1 P	1/14	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	3/02	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	5/00	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	13/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/10	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	25/00	

A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 29/00 1 0 1
 A 6 1 P 29/02
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 31/10
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 31/18
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 37/04
 A 6 1 P 37/06
 A 6 1 P 37/08
 C 1 2 N 1/20 A
 C 1 2 R 1:225

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月27日(2005.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 A H 1 0 2 , A H 1 0 3 , A H 1 0 5 , A H 1 0 9 または A H 1 1 0 のいずれかから選択されたラクトバチラスサリバリウス (*L a c t o b a c i l l u s s a l i v a r i u s*) 株またはその変異体類またはバリエーション類。

【請求項2】 ラクトバチラスサリバリウス株 A H 1 0 2 またはその変異体またはバリエーション類。

【請求項3】 ラクトバチラスサリバリウス株 A H 1 0 3 またはその変異体またはバリエーション類。

【請求項4】 ラクトバチラスサリバリウス株 A H 1 0 5 またはその変異体またはバリエーション類。

【請求項5】 ラクトバチラスサリバリウス株 A H 1 0 9 またはその変異体またはバリエーション類。

【請求項6】 ラクトバチラスサリバリウス株 A H 1 1 0 またはその変異体またはバリエーション類。

【請求項7】 前記変異体が遺伝的に修飾された変異体である全ての先行請求項に記載のラクトバチラスサリバリウス株。

【請求項8】 前記バリエーションがラクトバチラスサリバリウスの天然のバリエーションである全ての先行請求項に記載のラクトバチラスサリバリウス株。

【請求項9】 株類 A H 1 0 2 , A H 1 0 3 , A H 1 0 5 , A H 1 0 9 または A H 1 1 0 のいずれかから選択されたラクトバチラスサリバリウス株の生物学的に純粋な培養物。

【請求項10】 生細胞の形状である全ての先行請求項に記載のラクトバチラスサリバリウス株。

【請求項11】 非生細胞の形状である全ての先行請求項に記載のラクトバチラスサリバリウス株。

【請求項12】 前記株が切除し洗浄したヒト消化管から単離される請求項1乃至11のいずれかに記載のラクトバチラスサリバリウス株。

【請求項13】 前記株がヒトにおける経口的消費後において有意に免疫調節性で

ある全ての先行請求項に記載のラクトバチラスサリバリウス株。

【請求項 1 4】 請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載の株類の少なくとも 1 種を含む製剤。

【請求項 1 5】 別のプロバイオティック物質、プレバイオティック物質、および／または、カプセル、錠剤もしくは散剤、もしくは酸性化させたミルク、ヨーグルト、冷凍ヨーグルト、粉ミルク、ミルク濃縮物、チーズスプレッド類、ドレッシング類または飲料類のような食品のような薬学的に許容できる担体のような摂取可能な担体を含む請求項 1 4 に記載の製剤。

【請求項 1 6】 さらに、蛋白質および／またはペプチド、特にグルタミン／グルタメートを多量に含む蛋白質類および／またはペプチド類、脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラルおよび／または微量元素を含む請求項 1 5 に記載の製剤。

【請求項 1 7】 前記ラクトバチラスサリバリウス株が、前記製剤 1 g 当たり 10^6 c f u を超えた量で存在する請求項 1 4 乃至 1 6 のいずれかに記載の製剤。

【請求項 1 8】 アジュバント、細菌性成分、薬物体、および／または生体化合物を含む請求項 1 4 乃至 1 7 のいずれかに記載の製剤。

【請求項 1 9】 免疫化およびワクチン化プロトコール類に使用するための請求項 1 4 乃至 1 8 のいずれかに記載の製剤。

【請求項 2 0】 食品中で使用するための、医薬品として使用するための、望ましくない炎症活性の予防および／または治療に使用するための、クローン病もしくは潰瘍性大腸炎のような炎症性腸疾患；過敏性腸症候群；嚢炎；もしくは感染後大腸炎のような望ましくない消化管炎症活性の予防および／もしくは治療に使用するための、消化管腫瘍（類）の予防および／もしくは治療に使用するための、リウマチ性関節炎のような全身疾患の予防および／もしくは治療に使用するための、望ましくない炎症活性による自己免疫疾患類の予防および／もしくは治療に使用するための、望ましくない炎症活性による腫瘍の予防および／もしくは治療に使用するための、腫瘍の予防に使用するための、クロストリジウムディフィシレ（*Clostridium difficile*）関連下痢、ロタウイルス（*Rotavirus*）関連下痢、もしくは感染後下痢、もしくは大腸菌のような感染性物質による下痢疾患のような望ましくない炎症活性による下痢疾患の予防および／もしくは治療に使用するための、望ましくない炎症活性の予防および／もしくは治療用抗炎症バイオセラピー剤の調製に使用するための、前炎症性微生物類に拮抗し消化管から排除することによって前記株類が作用するような、前炎症性サイトカイン類のレベル低下用抗炎症バイオセラピー剤の調製に使用するための、または、IL - 8 のレベル低下用抗炎症バイオセラピー剤の調製に使用するための請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載のラクトバチラスサリバリウス株または請求項 1 4 乃至 1 8 のいずれかに記載の製剤。

【請求項 2 1】 IFN γ のレベル修飾用抗炎症バイオセラピー剤の調製に使用するための AH 1 0 2、AH 1 0 3 または AH 1 0 5 のいずれかひとつから選択されたラクトバチラスサリバリウス株。

【請求項 2 2】 TNF α のレベル修飾用抗炎症バイオセラピー剤の調製に使用するためのラクトバチラスサリバリウス株 AH 1 1 0。

【請求項 2 3】 AH 1 0 2、AH 1 0 3、AH 1 0 5、AH 1 0 9 および AH 1 1 0 のいずれかから選択されたラクトバチラスサリバリウス株の抗感染性プロバイオティック株類としての用途。

【請求項 2 4】 対象における望ましくない炎症活性または炎症性疾患を治療または予防する方法で、前記対象に対して請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載のラクトバチラスサリバリウス株または請求項 1 4 乃至 2 0 のいずれかに記載の製剤を投与することを含み、前記望ましくない炎症活性が消化管炎症活性であり、クローン病もしくは潰瘍性大腸炎のような炎症性腸疾患；過敏性腸症候群；嚢炎；もしくは感染後大腸炎であり、または過敏性腸症候群である方法。

【請求項 2 5】 対象における腫瘍を治療または予防する方法で、前記対象に対して請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載のラクトバチラスサリバリウス株または請求項 1 4

乃至 2 0 のいずれかに記載の製剤を投与することを含み、前記腫瘍が消化管腫瘍または炎症による腫瘍である方法。

【請求項 2 6】 対象における炎症関連全身疾患を治療または予防する方法で、前記対象に対して請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載のラクトバチラスサリバリウス株または請求項 1 4 乃至 2 0 のいずれかに記載の製剤を投与することを含み、前記全身疾患がリウマチ性関節炎である方法。

【請求項 2 7】 対象における炎症によって起こった自己免疫疾患を治療または予防する方法で、前記対象に対して請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載のラクトバチラスサリバリウス株または請求項 1 4 乃至 2 0 のいずれかに記載の製剤を投与することを含む。

【請求項 2 8】 対象における下痢疾患を治療または予防する方法で、前記対象に対して請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載のラクトバチラスサリバリウス株または請求項 1 4 乃至 2 0 のいずれかに記載の製剤を投与することを含み、前記下痢疾患が、クロストリジウムディフィシレ関連下痢、ロタウイルス関連下痢、感染後下痢または大腸菌のような感染性物質による下痢疾患である方法。